

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

広島県企業局 広島水道事務所 東海田第1・第2ポンプ所

(2) 事業所の所在地

広島県安芸郡海田町東海田

(3) 業種

上水道業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成21(2009)年度を基準年度とし、平成22(2010)年度から平成25(2013)年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況  
 《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a) 平成21年度	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c) 平成 年度	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計							
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率 (c) = (b) - (a) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = (a) - (d) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》  
 原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの種類	基準年度の 実績 (a) 平成21年度	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c) 平成25年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	0.5614	0.5333 5	0.5206 7.3	0.4905 12.6	0.4140 26.3		
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量	0.5614	0.5333 5	0.5206 7.3	0.4905 12.6	0.4140 26.3		
エネルギー消費 原単位 (原油換 算kl)	0.2085	0.2082 0.1	0.2075 0.5	0.2081 0.2	0.2081 0.2		
実績に対する 自己評価	設備更新の際に高効率機器を採用すること等により原単位の若干の改善はあった。						

※ 削減率 (c) = (b) - (a) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = (a) - (d) / (a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	省エネルギー化の推進	エネルギー消費原単位：年平均1%（5カ年計画で5%）削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高効率機器の採用</li> <li>・高効率運転方式の採用</li> <li>・運転管理による使用エネルギーの削減</li> </ul>

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。